

こだす新聞

第63号

平成13年1月

老人一部負担金改正

老人医療の改正が行われ、一月から一部負担金の徴収額が変わりました。児玉医院歯科では内科も歯科も定額負担を選択いたしましたので一回の支払額は八百円で、月に四回まで負担があります。

他の診療所では一割負担を選択している診療所、病院がありますので、しばらくの間、支払いに戸惑いが生じるように思います。支払い時に、「ご不審がございましたら、遠慮なく受付にお尋ねください。」



日本語学校八郎潟校

県の事業として六年間行われてきた日本語学校八郎潟校が十二月で閉校しました。講師の藤原暁子先生が今まで教えてき

た体験を一つ一つ思い出しながら今までの生徒について語っていました。生徒を代表して千田ルイザさんを始め三人から流暢な日本語で「日本語学校について」、日本での体験について「語っていただきました。特に日本語学校が単なる語学学校ではなく、国外から日本に来た人たちの交流の場として果たしてきた重要な役割を三人とも述べていたのが印象に残りました。」

今後は各町村に事業が移管されることとなりますが、八郎潟町では継続開校に向けて明るい見通しがあることが告げられ、生徒も先生も一安心して解散しました。

隣町の
大潟村で



秋田ワールドゲームズ

秋田ワールドゲームズのボート競技が開催されることになっております。しかし、村長が代わり村自体のワールドゲームズに対する政策が変わったためかボランティアで参加してくれる人が少なく大変関係者は大変危機感を持っています。



方へも八郎潟町でボランティアで参加する人を募る要望が来ております。秋田の地方では、世界の様々な国の人々と接触する機会が簡単に得られません。この機会に皆さんも参加してみませんか。ボランティアは英語で通訳するだけでなくゴミの運搬など様々な雑用も含まれています。英語が出来なくてもボランティアとして参加できるようですし、今月から希望者には大潟村で無料の英会話教室も開かれるそうです。積極的な参加をお待ちしています。希望者は直接電話で八三〇六〇一〇に連絡するか、受付にお話ください。

南秋福祉作業所 つくしんぼの家」が認可施設になるための申請中だそうです。

現在、無認可であるために国や県から十分な補助が得られず、

南秋福祉作業所

四月に入所希望の五人を受け入れられない状態となっているそうです。

認可施設となるためには、現在無償で借りている施設を購入しなければならず、三百万円もの購入資金が不足している状態と聞きました。この施設は南秋田郡全域を対象としているため、支援を呼びかけるには多くの団体から協力をしていただく必要があります。

八郎潟町ではメビウスや小学校の父兄などの有志が集まって南秋の福祉を考える会」を設立し、助力するべく準備を始めていますが、期間が二月末までという短期間



のため、資金集めが難しい状態です。皆様のご理解と支援を待っています。

連絡は南秋福祉作業所 つくしんぼの家、電話は八七五二一一五、松橋まで。

終了証

次の皆さんに修了証をお渡しすることが出来ました

福島結希さん
千田悠輝さん
須田拓哉さん
渡部巴さん
石井秀樹さん
畠山悠さん

今月の行事

1月
6日 商工会賀詞交歓会
6日 医聖祭
7日 全町綱引き大会
8日 成人式 休診
9日 一歳半健康診断
18日 町総合発展計画